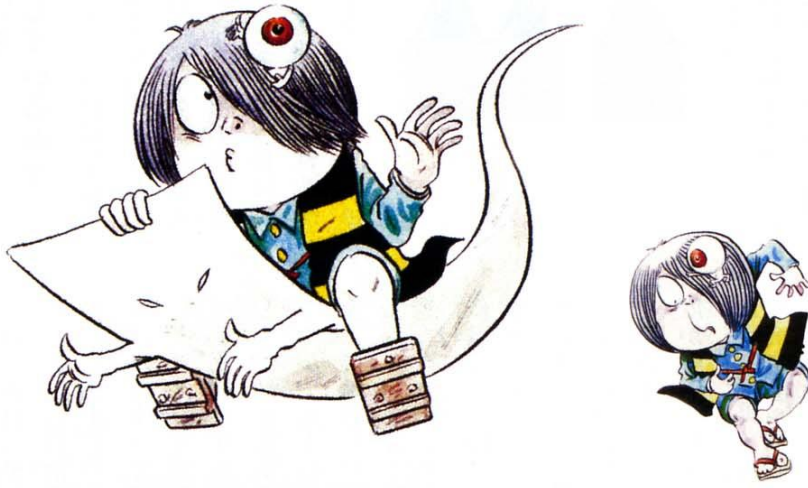


新年おめでとうございませう

今年、僕が全国に、

NHKテレビで

調布市を紹介しますよ！



謹賀新年

調布市自治会連合協議会 会長 川原 主計

平成二十二年の年頭にあたり、皆さまには昨年二年間のご協力を心から感謝を申し上げます。就任以来、早や十年目となりました。振り返れば夢のような無我夢中の時の流れでした。当時は、何から始めていいのか？暗中模索のままスタートしましたが、当会は今や、調布市の自治会や行政にとって、最も期待され、信頼される重要な組織に成長したことを実感しております。

それこれも 各役員さんが、「自治連協」というこの組織の大切な存在を認識し、将来も必ず市民の役に立つ組織になる！という強い信念から様々な問題に真摯に取り組んで来た事が、ここまで成長した証左であると感じ深く想っております。

しかし、この事業はすべて無償の行為ですので、あまり肩に力を入れ過ぎてはいつか疲れてしまう？と危惧し、私はこの会に参加するすべての方々にいつも楽しく、長続きするようにと願い、明るく思いやりの心を持つことを指針として参りました。

本年という「大切な時間」を又、皆さんと共有出来る喜びを噛みしめて参ります。



新春を迎えて

調布市長 長友 貴樹

新年明けましておめでとうございませう。

皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしく願っています。

昨年衆議院選挙では昭和三十年以来の本格的な政権交代となり、国も大きな転換期を迎えております。また、米国の金融危機に端を発した景気後退は、日本経済に深刻な影響を与えております。早期の景気回復が待たれているところです。こうした情勢の中、市では二十二年度の予算編成が大詰めに差しかかっております。

景気低迷による市税収入が大幅に減少し厳しい予算編成を余儀なくされておりますが、参加と協働の理念の下、市民の皆様のご協力を頂きながら各施策の着実な推進に努めてまいります。

調布市自治会連合協議会の皆様には、地域と行政のパイプ役として引き続きお力添えをお願い申し上げます。貴協議会のみならず、ご発展とご多幸を祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

総務委員会 有原 成夫 自治会に望まれている 自治連協に成長しているか？

総務委員会では、自治会の目線で定期総会以来、八回の会議を重ねて来ました。自治連協は、地域自治会活動にどんな手をさしのべているか、またその組織機能が充分であったのか、そして今後は何を改善し、自治会と自治連協の活性化を図るかが主な検討議題でした。



主要意思決定は理事会で！

従来は、委員会での検討結果を役員会に提案し、決定して来たが、委員会活動をより活性化させて、委員会と三役会で充分にすり合わせた上で、理事会に提案して、決定するように改正すべく、検討を進めている。(情報の共有を推進する)

委員会ごとの予算へ

検討が遅れていた重要な課題であり、委員会の責任において、予算を立てて、執行する方向で、準備を進めています。

こんな活動を参考に！ 企画委員長 鈴木 英夫

自治連協へ参加している地域自治会は約二〇〇自治会あります。それぞれの自治会の活動は様々ではあるが共通している活動内容が多々あります。今回は、三自治会の活動内容を紹介し、参考にして頂ければ幸いです。

まずは、運営資金の内容ですが、会費は、月額一〇〇円・回覧配布手数料・募金手数料・賛助会費・防災会補助金等を会運営の資金としております。この三自治会は歴史的・環境的な経緯もあり多様ですが、基本的な行事は、防災訓練・交通安全対策・敬老と子供対策等には特に力を注いでいます。

A自治会は、防災・環境福祉・防犯交通安全・企画総務各部などそれぞれ四人の副会長が担当して活動をしています。又、クリーン作戦(年二回)・朝のラジオ体操・春秋の交通安全運動・学童を犯罪から守るボランティアパトロール・秋祭りには子供太鼓の巡回・ビンゴゲーム・綿あめなど自治会主催で大変にぎやかです。

又、B自治会では、年一回日帰り親睦旅行をバス二台で毎年実施しています。これは参加者の一部負担金がありますが、好評で親密度が醸成されています。

そして、C自治会は、駅周辺の環境で商店会を始め、様々な団体と関係を重視しており、お祭りは自治会の他、商店会・青年会・安協等と合同で大変盛大に行われます。立地条件上補助金がウエイトをしめています。

最後に一昨年十一月、自治連協主催で、若葉小地域総合防災訓練を実施した。昨年は春に、誕生した地区協議会の主催で十一月に防災訓練を多数の参加者を得て行いました。どうぞ参考にさせて頂ければと思います。



つぶやま

こんな事 考えたことありませんか？

一方通行などの狭い道で、運転している時、前を歩いているお年寄りを追い越すとき、アクセルを踏んだりしませんか「車に追い越される瞬間というのは、とても怖いものです！」。アクセルから足をはなして、追い越して、そのお年寄りが車の後姿を見届けてから、アクセルを踏んでも遅くはないと思いますが…。

近頃、自転車に乗ったまま、メールしている若者を見かけませんか？こんな時、皆さんならどうしますか？筆者は「こらっ」とだけ言うことにしています。

日が暮れるのが早くなりました。無灯自転車の例が増えているように思いますが、皆さんはどんな風に考えておられますか？「灯をつけてもらえませんか！」と低姿勢でお願いしても反応はありません。「五月蠅い親父！」位にしか考えないで無視して行ってしまう。

おば様達は、「すみません」とは言いますが、そのまま行ってしまう。

「この次からお願います」で終えることにしています。男には声を掛けません。怖いからです。

灯をつけると、目立ってしまうから、気付かれないように、灯を付けない方が安心？とも考えているのでしようか？

筆者にはどうしてもわかりません！
(有原 成夫)

事業委員長 森田 利雄

平成二十一年度事業

イ、三月十七日(火)調布飛行場にて不法侵入者、ハイジャック訓練に参加。

ロ、五月十四日(日)味の素スタジアム感謝デーに参加し飲料水など販売。

ハ、六月七日(日)自治連協総会

ニ、七月七日(火)第一回事業委員会の打ち合わせを行う。

ホ、九月二十四日(木)FC東京サッカーチケット販売協力を市役所入口にて行う。

ヘ、十月十八日(日)飛行場まつりに参加自治連協テントに市内多数の自治会長さんや市長さんなど来訪し、にぎやかな一日となり、素敵な交流の場になりました。

又、生ビールや飲料水などほぼ原価販売で大好評でした。

ト、十二月六日(日)福祉まつりへ参加し、年間の最後の大イベントでした。沢山の成果を上げ、年越しを苦労している方々に少しでも良い年末・年始を迎えることが出来るよう自治連協の役員はボランティア活動に頑張りました。

今後「自治連協」として決定した事業については主体的に役割を果たします。その他市行政主催の事業には積極的に参加協力していきたいと想っています。

安全委員長 原 均

自治会自主防災・防犯組織を作る活動を推進安全委員会では、昨年(平成二十一年)地域防災訓練を計画しましたが、諸般の事情により実施できませんでした。事前にご協力いただいた関係者の皆さんに、お詫びを申し上げます。

平成二十二年度は、十分な準備と地域の状況をしっかりと分析して、実行してまいります。

地域防災訓練の目的は、地域自治会を中心とした自主防災・防犯組織を結成していくことにあり、地域の人々の思いやり、助け合い協力・連携を醸成することにあります。

ここで結成された組織が柱となり、和となり、安心・安全のまちづくりの活動が地域に根付くと考えております。自治連協の安全委員会は、そのために大きな自治会・小世帯自治会が一体となつて組織化の取り組みが推進出来るよう協力していきます。

住宅用火災警報器の設置義務期日が迫っております。自治会の共同購入により、費用が有利になります。自治連協は地域自治会に協力します。



地域力の一層の向上

福祉委員長 若松 節

今年も重要な課題であり、その為には話し合い交流による豊かなコミュニケーション造りが重要だと思います。

今年の『福祉まつり』には自治連協では「カフェふれあい」を設け、暖かいコーヒー、お団子を愉しみながら市民の皆さんの話し合い交流の場として利用して頂き、コミュニケーションに役立てて頂きました。

ステージでは、自治連協のプレゼンテーションを大久保会長代行が行い、自治会活動の大きな役割を参加の皆さんに訴えました。

又、深大寺東自治会の皆さんによるコーラスもあり、福祉まつりの盛り上げに一役演じました。

バザーも自治会の皆さんの協力により多くの品物が集まり、コーヒー、お団子、生ラーメンに『ゲゲの女房』の本の販売等すべてが好評でその結果3万6千440円を福祉資金として、社会福祉協議会に拠出する事が出来ました。加盟自治会の皆様のご支援まことに有難うございました。



近藤 勇の生誕地 「上石原」のまちづくり

年々住民が増え続けている上石原地区では、駅や駅前道路が大変危険となって来た。これらの問題解決を目指し、自治会組織を超えた街づくりの事業展開が求められて参りました。

都市化が進み上石原地区内に20数件の新しい自治会が誕生しており、旧上石原自治連合会では平成十一年四月に、より多くの新しい自治会も参加しやすい「上石原まちづくり協議会」を設立いたしました。その後は、旧連合会に参加していた各自治会は個々に自治会活動を行い、上石原全体とした事業は、まちづくり協議会に移行し、協議会が軌道に乗った平成十六年にこの連合会は解散しました。

旧自治連合会の生まれ変わりともしえる上石原まちづくり協議会では、第三小学校を中心として上石原のまちづくりの事業を行なってまいりました。事業の大きな柱は、従来から行ってまいりました地域活動(交通安全・防犯・防災等)と住み良いまちづくり活動です。地域活動では、春秋の交通安全・防犯・防災等)と区内防犯巡回・年末の防火巡回や歳末警戒などを協議会と地区内自治会に呼びかけ、参加自治会が協力して行っております。

まちづくり活動では、街づくりの研究部が中心となり、西調布駅周辺の整備を求める署名活動を実施、一、四〇八人の署名を頂きました。その署名を調布市と京王電鉄株(株)に届け住民の要望が前向きに事業として進むことになりました。現在は、西調布駅舎の改修工事が平成二十二年度完成予定。駅南北(600坪)の駅前広場と駅前道路は北側の事業化が進み、平成24年度に完成予定となりました。

今後も地区内外の自治会の連携を深め、近藤勇の生誕地でもあります旧上石原自治連合会が中心となり成立した、上石原まちづくり協議会とともに、上石原のまちづくりを自治会も住民と一丸となって協力していかねばなりません。



NHK大河ドラマ「天地人」に思う

上杉謙信の信念「義と武」を重んじ、筋目を通して戦国の世を生き抜いた「直江兼統」の一生は、苦難の道であったと想う。そして、このドラマを通じて語りかけたのは、「直江兼統」のひたむきな「愛」であった。自分の兜に「愛」を標し、この文字の意味を戦国の世に訴え、愛に生きた兼統に、私は云い知れぬ感動を受けた。

「人間は愛から生まれた」と詩人ゲーテはいう、愛こそ最強の武器である!とそこの詩にあったことを思い出した。

現代の指導者達はどうだろうか?己の利害を忘れ、助け合いという「愛」の大切さを、人々に語りかけているだろうか? 「愛する心」は強い信頼を生む。そして最も大切なことは、義(人の行うべき正しい道)を重んじて、筋目を通すことである。云う事とやる事がまるで逆で、更に、そのことを平然としているようでは信頼などすぐ崩れる。今、その時代にある。現代の恵まれた物質文明の中にあつて、人々は自己中心的に生きている? 大切な「愛」を忘れていくように思う。私達は、愛すること、助け合うことの大切さを学びながら、地域自治会のリーダーの方々に伝えています。自治連協のすべての役員は、「人を愛する事」が原点となっているからです。(大久保)

賛助会員

敬称略

- 調布市社会福祉協議会
- 共同募金調布地区協力会
- 調布市交通安全協会
- 調布地区防犯協会
- 調布市災害防止協会
- 深大寺 林建設株
- 高津美術装飾株
- 共進倉庫株 齊藤倉庫株
- 永易運輸株 山田病院
- 橋本石材 株ウイード
- 昭和信用金庫多摩川支店
- (有)薩南温調 京王建設株
- 京王バス東株 株シマダハウス
- 株レストラン京王
- 緑ヶ丘三丁目自治会
- 緑ヶ丘 丁目自治会
- 緑ヶ丘西部自治会
- 緑ヶ丘自治会
- 西つじヶ丘第四自治会
- 仙川緑ヶ丘若葉親和会
- 深大寺元町丁目自治会
- 林 貞夫 増岡 源吾
- 矢田部新一 川手 一郎
- 恩田 章司 元木 輝昌
- 藤橋 道夫 川原 主計
- 平田庄之助 山崎彦二郎
- 平林 伸作 大久保正一

暖かい心の支援に感謝!